

こおり暮らし

桑折にしかない魅力を世界に伝えたい 地域おこし協力隊員が始動



喜多 優介さん（左）、渡邊 瑛子さん（右）

KITA YUSUKE
WATANABE EIKO

「桑折町には『町を良くしたい』と考えている人が多い。どんどん思いを形にして、一緒に取り組みましょう」と笑顔で呼びかけます

桑折町の新しい地域おこし協力隊となった喜多優介さんと渡邊瑛子さん。4月からお試し住宅「ホタピーハウス」を拠点に、町のPR活動に取り組んでいます。

二人の出身は、兵庫県神戸市。日をまたいで明け方まで仕事に追われる日々の中、「これからは、豊かな心や思いを大事にして生きていきたい」と田舎への移住を決意。日本全国47都道府県、そして、海外も巡り、その中で一番心惹かれた桑折町を移住地に選びました。

「数多くの地域を見てきたからこそ、桑折町にしかない魅力が分かる」という喜多さん。「豊かな自然と歴史が残る一方、ロゴマークなどのおしゃれな取り組みもある。町の良い素材を掛け合わせたら、もっと可能性が広がりそう」と感じたそうです。

「経験と人脈を生かして、桑折町を関西や海外とつなげる架け橋になりたい。町内はもちろん、福島県や東北の人とセッションして、『あ、いいな』と誰かの心に刺さるモノを生み出し、コアなファンをつくっていききたい」と目を輝かせます。

【今月の表紙】

松原の菜の花畑で、鯉のように悠々と泳ぐ菅野智章くん。「重くなったな～」と孫の成長に祖父の義男さんも笑みがこぼれます。素敵な家族が遊びに来たと、鯉のぼりや菜の花も嬉しそうにユラユラ揺れて歓迎しているようでした▼なかなか外出できず、心がピリピリしてしまう今、身近にある自分が元気になれる場所や、ホッと笑顔になれる人の大切さに改めて気付きます。明けない夜はないと信じて、めげずに心穏やかにみんなで乗り越えましょう（愛莉）

◆人口（前月比）4月1日付

人口	計	11,679人	(-35)
※住民基本台帳 外国人含む	男	5,592人	(-13)
	女	6,087人	(-22)
世帯数		4,597世帯	(-12)
転入	81人	出生	5人
転出	104人	死亡	17人

◆今月の納税

- ・軽自動車税（全期）
- ・自動車税（全期）
- ・伊達西根堰土地改良区費（前期）

期限 **6月1日**

◆住民票・戸籍・印鑑・税証明・マイナンバー受け取り窓口延長 （毎週木曜日、午後7時まで。祝日除く。）

※当日午後5時までに税務住民課（☎582-2114）へ要予約。